

# 北海道医療センターは 西区を代表する総合病院です

三角山



## 循環器内科

循環器疾患に24時間365日対応  
最善の治療を選択し安全・確実で高度な治療  
北海道医療センター循環器内科医長 竹中孝

循環器内科では総勢13名のスタッフ(9名は循環器専門医)を揃え、高血圧症・不整脈・心不全・冠動脈疾患(狭心症や、心筋梗塞・心筋疾患・弁膜疾患・末梢血管疾患・肺動脈疾患・睡眠時無呼吸症候群などの診断・治療を行っています。特に急性心筋梗塞や急性心不全、致死性不整脈などの緊急治療を要する循環器救急疾患に對しては、365日24時間常に循環器医師が院内に待機しており、心臓・血管外科・救急科とも連携し、迅速に治療可能な体制を整えています。非薬物治療としては、不整脈に對する心筋焼灼カテーテルアブレーション(人工ペースメーカー・植え込み型除細動器(ICD)、冠動脈や末梢血管に對するカテーテルインターベンション、心不全に對するペースメーカー治療、睡眠時無呼吸や心不全に對する経鼻的持続陽圧呼吸療法(CPAP)、順応性自動制御換気(ASV)、心臓リハビリテーションなど、多岐にわたる心臓血管病治療を行っており、これらの件数は年々増え続けています。

診断分野では、従来からある心臓超音波・核医学検査(シン

チグラム)・64列CT・MRIなどの画像診断装置に加え、3次元心臓超音波装置を導入しました。この検査は弁の形態や動きが鮮明かつ立体的に把握できることから、特に弁膜疾患における手術適応や術式の決定に大いに役立っています。治療分野では、冠動脈インターベンションにおけるロータブレッタ先端にダイヤモンドをちりばめた高速回転ドリル)使用の施設基準をクリアし、血管壁に石灰沈着した硬い狭窄病変の治療が行いやすくなりました。また、不整脈に對するカテーテルアブレーションでは、心腔内超音波画像を統合した3次元マップピンシステムの使用を開始し、これにより心臓の中に目がある感覚で安全迅速な手術が可能となつています。

当院では様々な治療が行われますが、難しい侵襲的な治療を一方的に勧めるようなことはいたしません。私共は、患者さん一人一人に對して最適で良質な医療を提供できるよう、日々のカンファレンスで議論し、時には心臓血管外科医も加わって治療方針を決定しています。また、カ



テーテルによる大動脈弁置換術など、未だ一部の施設でしか行えない治療が最良と判断した場合には、施行可能な病院へ紹介させていただくこともあります。最終的な決定権は患者さんご家族にありますので、疑問点は担当医に遠慮なく訊ねてください。医療は専門化・細分化が進んでいますが、単に心臓や血管を直すだけで満足することなく、退院後の生活を見据え、他科医師やコメディカルスタッフ、医療ソーシャルワーカーとも連携した「チーム医療」によって全人的な医療を行う総合力が当院の特徴と考えています。



まいにちがら、まいいちまで。

〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1番1号  
TEL 011-611-8111 FAX 011-611-5820

●ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokkaidomc>

北海道医療センター

検索